

やっぺす通信 Vol.31

やっぺす通信とは「よこはま型若者自立塾」による石巻復興支援プロジェクト【うんめえもん市】の活動や石巻の現状、若者支援の活動報告をお伝えしています。石巻の美味しいお弁当を食べながら、遠く東北の地で頑張っている若者達に想いを寄せていただくと嬉しいです。今月もおいしいもの満載でお届けします～。

2014.6.14 発行

やっぺす通信発行元

・NPO法人ヒューマンフェローシップ

・うんめえもん市

www.k2-inter.com/ishinomaki

Tel:045-762-1435(覚知・田上)

うんめえもん応援団

若者自立就労支援 × 石巻復興支援

応援ファイル No.14

(株)大地を守る会 取締役 山口 英樹

「うんめえもん市への応援メッセージ」

K2さんとのお付き合いの始まりは、今から2年前に当時私が通っていたビジネススクールの授業の一環で、K2の岩本さんの講演から活動内容を聞いたのがきっかけで、その後個人としてK2さんの「うんめえもん市」の業務を中心に関わらせて頂いております。元々私が当時所属していたコンビニの本部での仕事がお弁当や惣菜の商品開発であったことから、うんめえもん市用のお弁当の商品開発のアイデアや食材の在庫管理の仕方などについてアドバイスさせて頂いております。

これからも個人として、私自身のこれまでの食に携わる経験を、「うんめえもん市」の活動の中でお役立ち出来るように応援していきたいと思っていますので、是非皆さん頑張ってってください。

○山口英樹さんご紹介

私達が石巻支援をスタートし、「うんめえもん市」で初めて小売業を営むようになった為、小さなこと一つ一つが思考錯誤でした。大手企業(ローソン)での経験を私達の現場の実態に合わせて適宜アドバイスをしてくださり、それが今も「うんめえもん市」の売り場、システム作りに生かされています。見えないところで、「うんめえもん市」を支えてくれているお一人です。これからもよろしくお願いします!!



石巻現地の声

押切沼仮設住宅団地在住 阿部 圭子

この震災で住んでいた湊から離れ広渕の押切沼の仮設に住む事になり、始めはなかなか近所の人と話せなかったのですが、仮設の自治会長さんが同じ湊地区の方だったので、すごく助かりました。震災時、息子はまだ小学生でした。息子は自閉症なので、息子のことを理解してくれている先生や友達のところに通わせての方が良いと思い、小学校は転校せずに車で送り迎えをしていました。ちょうどその頃仮設の人たちとも仲良くなり、仮設支援でたこ焼きや焼き鳥などを販売している移動式居酒屋ころ蛸(K2)のみんなとも出会いました。K2の方と話して



いると、うちの子と同じ立場、似たような境遇の若い方が、わざわざ神奈川の方からこうして復興の為に働きに来てくれているのが凄いなと思いましたし、とても勇気が出ました。仮設の営業で初めて来てくれた時、オーダーを取るのも戸惑っていたりしていたのが、今ではジョークまで言えるようになっていて、うちの子ももう少し大きくなったらこんな感じになるのかなと思いつつ見えています。石巻にも私の子どもと同じような子が実は多く、相談するところもサポートしてもらえるところもなく困っています。そういった子どもたちのためにも、是非、今後ともK2の皆さんには石巻で頑張ってもらいたいです。

○阿部 圭子さんご紹介

震災前は被害が大きかった石巻市湊地区に在住していたため家屋が全壊。その後押切沼仮設団地に移り、K2石巻の仮設住宅支援「移動式居酒屋ころ蛸」でK2と出会う。現在K2石巻の現地ボランティアスタッフとして協力してくれている。

よこはま型若者自立塾報告 「JOB CAMP 石巻合宿」

5月14日から21日まで、JOBCAMP 石巻が行われました。今回は蛤浜プロジェクト、田伝むしの手伝いに行ってきました。蛤浜プロジェクトは前回に引き続き3回目。今回はキャンプ場整備の手伝いをしました。海岸で集めた小石と貝殻で手作りの浄化槽作りや、炊事場の屋根材料運び等を行いました。天候に恵まれて気持ちの良い環境での作業で、皆和気あいあいと、楽しく過ごせました。前は宿泊場所の整備を行いました、行く度に新しいものが出来て、どんどん素敵な場所になっています。田伝むしでは、田植えの手伝いを行いました。1つ5kg程ある苗床を軽トラックから下ろし、トラクターに積んでいきます。田植え自体は機械で行いますが、この積み下ろしがなかなか大変です。JOBCAMPメンバー3人と田伝むしの方計5名で行い、1haの田んぼを半日で植えきりましたが、通常はトラクターを運転する人と、苗を積んだりトラクターが通った後を均したりする人の2名で行い、1日ばかりで行うそうです。私も含め、皆初めての経験でしたが、蛤浜と同様天候にも恵まれ(ほぼ無風で、田伝むしの方も「こんな日はめずらしい」と言っていました。)、楽しく心地よい汗をかくことができました。参加者からも、田伝むしが楽しかったとの感想が多く聞かれました。今回は全員が初参加で、平均年齢も20歳前後と若く、働いた経験がない人がほとんどだったので「楽しむ」がテーマでした。晴天の中での外作業は気持ちよく、参加者同士の笑顔やコミュニケーションが自然と生まれました。蛤浜や田伝むしの方もやさしく接して下さり、リラックスして過ごすことが出来ました。K2ハウスでも、石巻に生活しているメンバーと夕食後カードゲームをしたり、好きな音楽やアニメの話で盛り上がりたりと、楽しい時間を過ごせました。次回は少し先になりますが、また今回のように「働くこと」と「楽しむこと」がうまくかみ合ったJOBCAMPにしていければと思います。



田伝むしでの田植えのお手伝い



JOB CAMP スタッフ 石原 功大

クローズアップ ISHINOMAKI VOL.15

～石巻現地スタッフからの便り～

丁度一年前のこの時期は本田水産株式会社と女川我歴 stock という復興祭について記事を書かせてもらい、それからあっという間に一年が経ちました。一年経った水産業界と復興イベント。先月触れさせてもらいましたが、**本田水産では K2 の若者が正社員として採用され、現在も3名の若者が継続して働いております。**女川我歴 stock は今年も開催され、今年も出店協力させていただきますが、石巻市内では震災後初出荷となるホヤの復興祭「ホヤ祭り」も開催され、もちろんホヤ祭りにも(株)うんめえもん市として協力します。祭事も“復興のために頑張ろう”から“皆様のおかげでここまで復興できたことに感謝”これからもっと発展していくために”等、位置づけが変わってきました。**K2 石巻の若者たちも“復興支援に石巻へ行く”から“石巻で生きる”をテーマに地元の方々と一緒に歩んでいきます。**



石巻現地スタッフ・NPO ヒューマンフェローシップ 事務局長 福島 竜

うんめえもん市 今月のオススメレシピ

今回はうんめえもん市で出品されている「磯のり」を使った「海苔の佃煮」の2種類のレシピをご紹介します。

〇作り方(しいたけ入)

- しいたけを薄く切り、ごま油で炒める
- 水と☆を入れ、磯のりを細かくしながら加える
- 弱火で煮詰める
- お好みで七味とごまをふる

海苔の佃煮(しいたけ入)



販売責任者



ちあっきー

海苔の佃煮(みそ味)



〇作り方(みそ味)

- すべての材料・調味料を鍋に入れ、火にかけて弱火で煮詰めたら完成

【のりの佃煮(しいたけ入)】

- 材料
- 磯のり: 20g しいたけ: 大1
- ☆
- しょう油: 大2と½ 砂糖: 大1
- みりん: 大1 酒: 大1
- だし汁: 大1 水: 大3

【のりの佃煮(みそ味)】

- 材料
- 磯のり: 20g 砂糖: 大さじ1
- みそ: 大さじ1 酒: 大さじ1
- 水: 大さじ3

6月・7月 うんめえもん市の開催スケジュール

◆ 6月の開催予定日

- ・15日(日) 舞岡柏尾ケアプラザ 11:00~14:30
- ・18日(水) 都筑区役所 11:00~16:00
- ・20日(金) 栄区役所 11:00~14:00
- ・25日(水) 瀬谷区役所 11:00~14:00
- ・28日(土) ゆさ祭り 16:00~20:00
- ・30日(月) 横浜市役所 11:00~14:00

◆ 7月の開催予定日

- ・2日(水) 旭区役所 9:00~15:00
- ・7日(月) 金沢区役所 11:00~14:00
- ・9日(水) 磯子区役所 11:00~16:00
- ・14日(月) 横浜市役所 11:00~14:00
- ・16日(水) 鶴見区役所 11:00~15:00
- ・22日(火) 瀬谷区役所 11:00~14:00
- ・25日(金) 栄区役所・南区役所 11:00~14:00
- ・30日(水) 都筑区役所 11:00~16:00

※予定は変更される事があります。詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。